

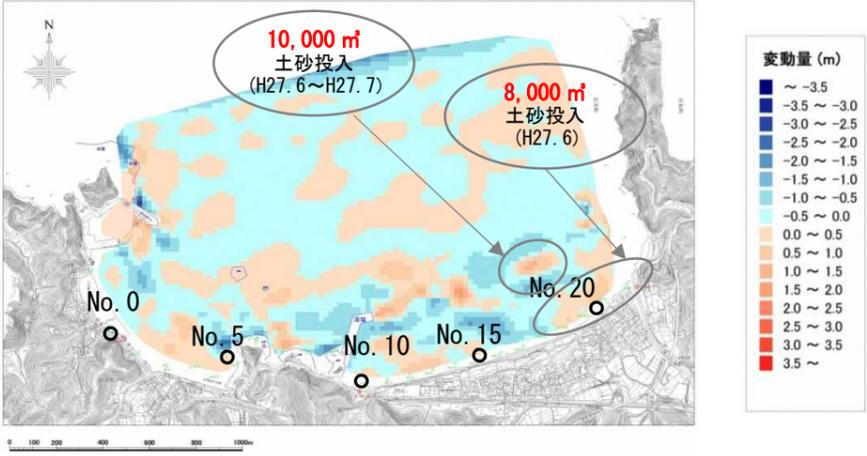
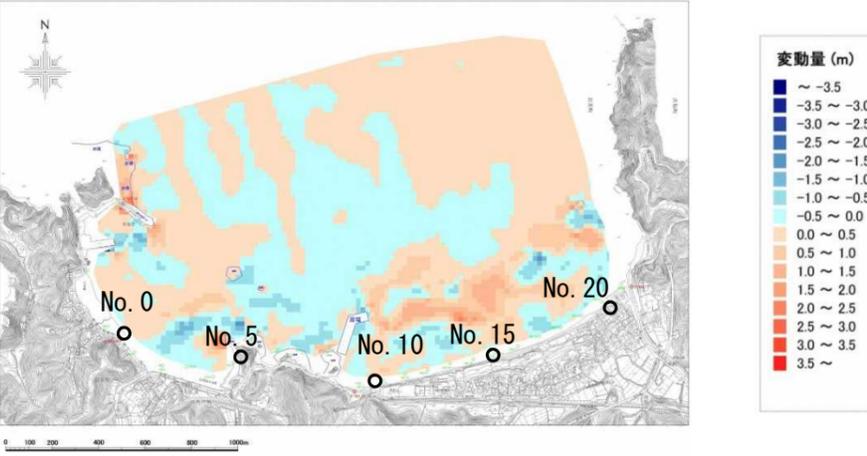
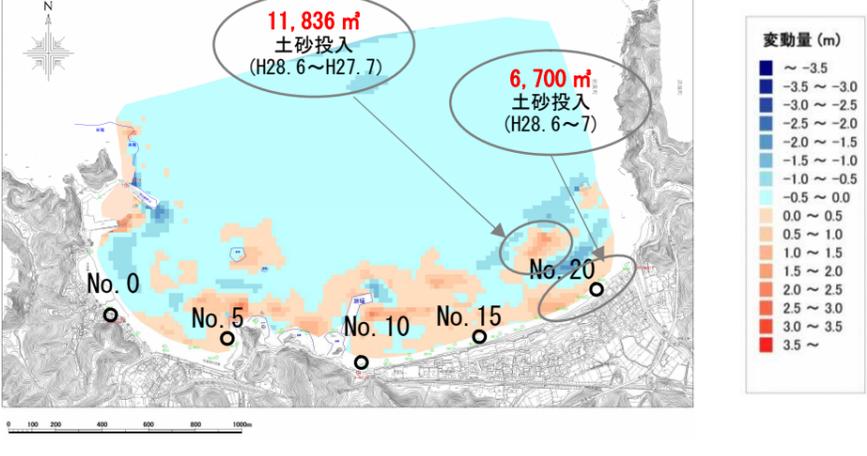
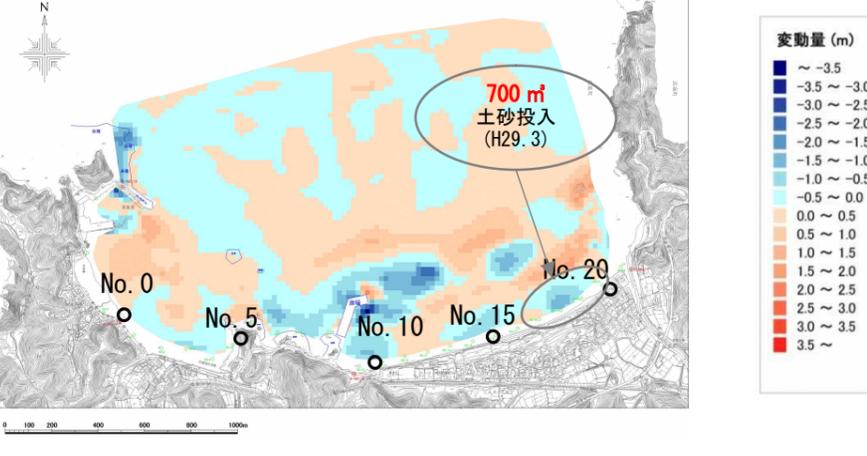
短期的分析 (冬→夏)	短期的分析 (夏→冬)
平成27年3月から平成27年9月(6ヶ月間)	平成27年9月から平成28年2月(5ヶ月間)
	
<ul style="list-style-type: none"> 全体として侵食傾向であるが、期間中の地形変動は小さく安定傾向を示している。 東側海岸の岸寄り(NO.15~NO.20)は、全体の中で侵食量が大きい最大2m程度にとどまっている。 西側海岸(NO.0~NO.4)は、東側海浜に比べると地盤高の侵食量は少なく、安定傾向を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体として増減していないが、東側海浜の岸近傍(NO.15~NO.20)は2m程度の堆積となった。
平成28年2月から平成28年9月(7ヶ月間)	平成28年9月から平成29年3月(6ヶ月間)
	
<ul style="list-style-type: none"> 岸寄りには堆積傾向であるが、期間中の地形変動は小さく安定傾向を示している。 東側海岸の岸寄り(NO.15~NO.20)は、全体の中で堆積量が大きい最大2m程度にとどまっている。 西側海岸(NO.0~NO.4)は、東側海浜に比べると地盤高の変動量は小さく、安定傾向を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 東側海浜の岸近傍(NO.15~NO.20)は2m程度の侵食となった。 潜り突堤の周辺が最大3m程度の侵食となり、全体のうちで侵食量が最大となった。

図 2.3.11 標高差分図 (短期的分析)

※参考までに、標高差分図の作成時に使用した等深線データを以下に示す。

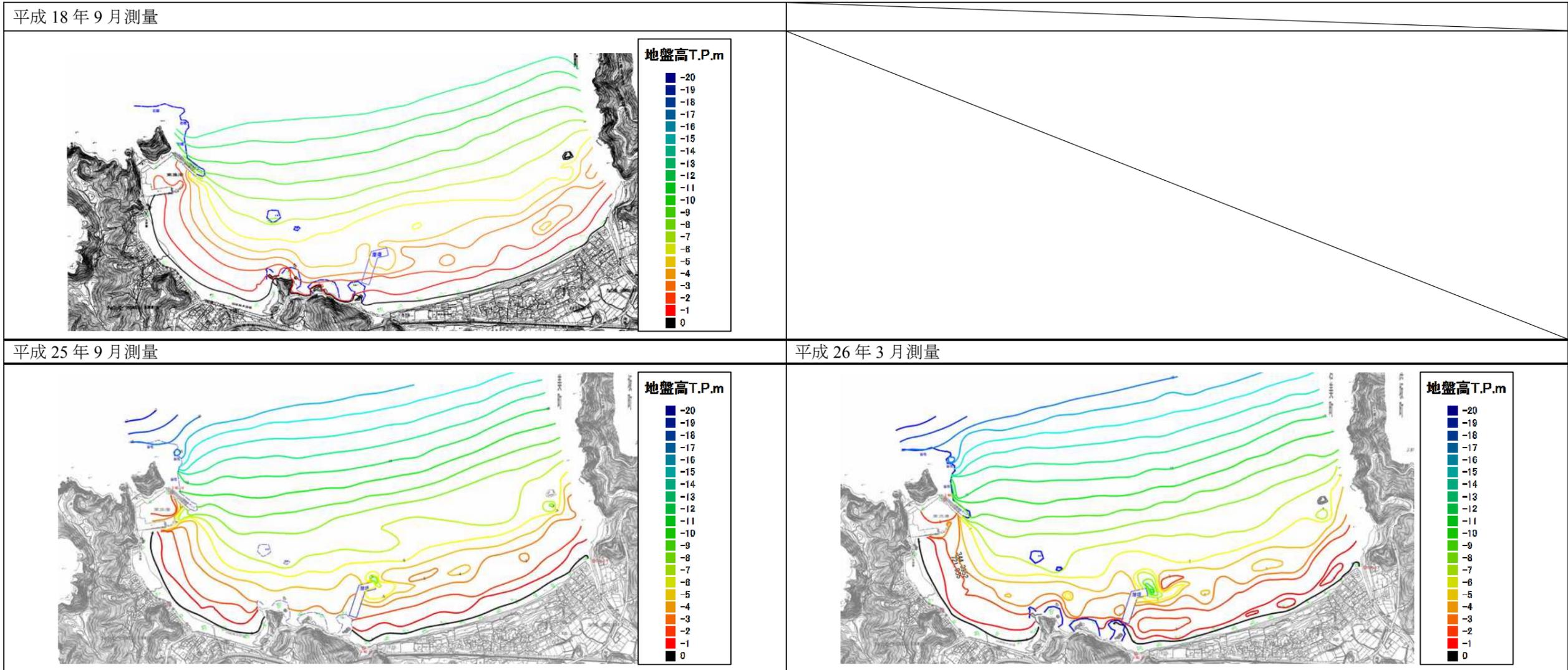
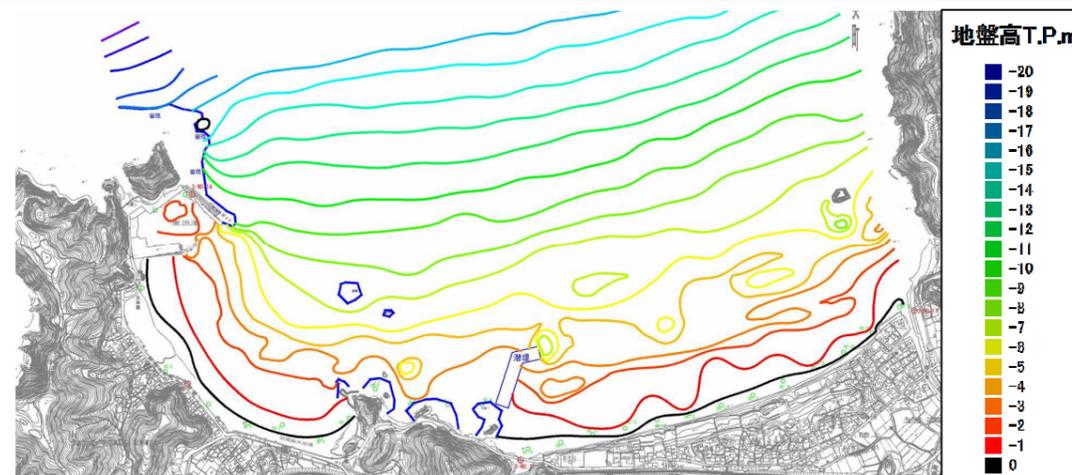


図 2.3.12 岩美海岸（陸上地区）の等深線図

平成 26 年 9 月測量



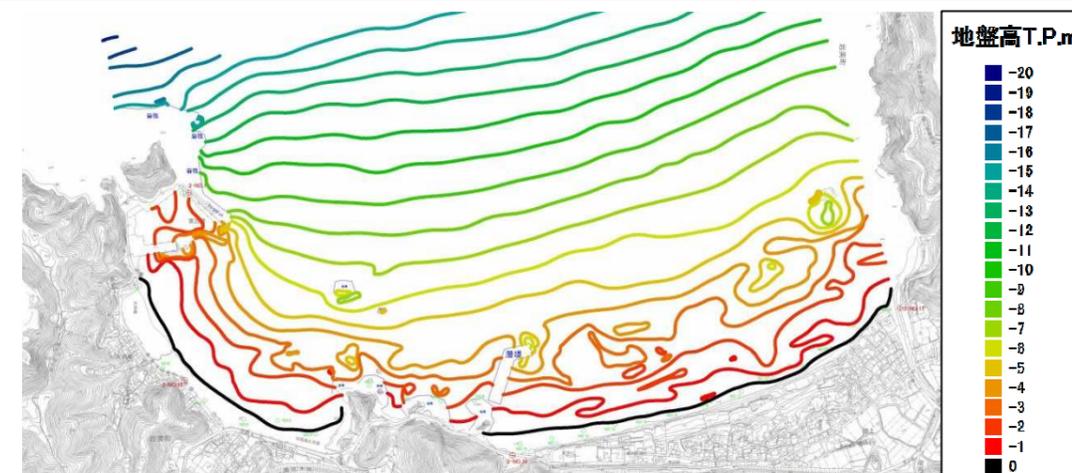
平成 27 年 3 月測量



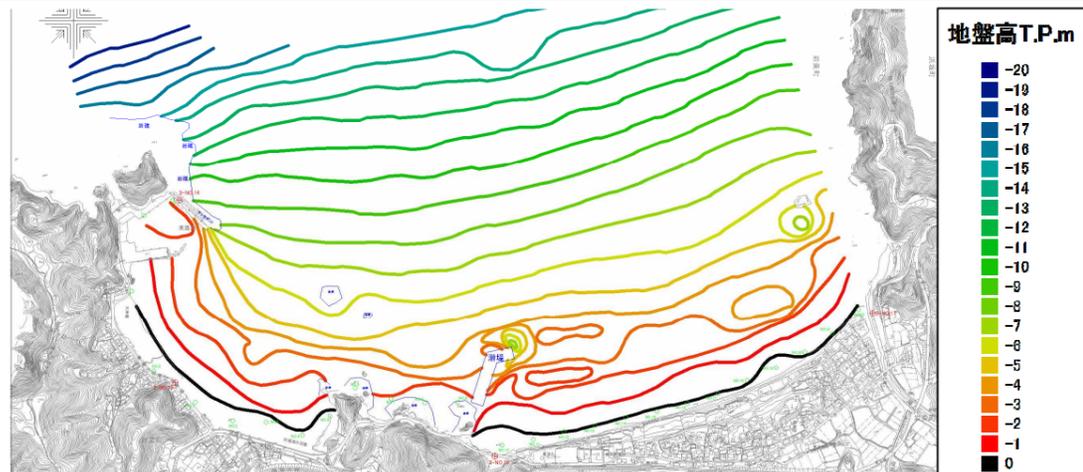
平成 27 年 9 月測量



平成 28 年 2 月測量



平成 28 年 9 月測量



平成 29 年 2 月測量

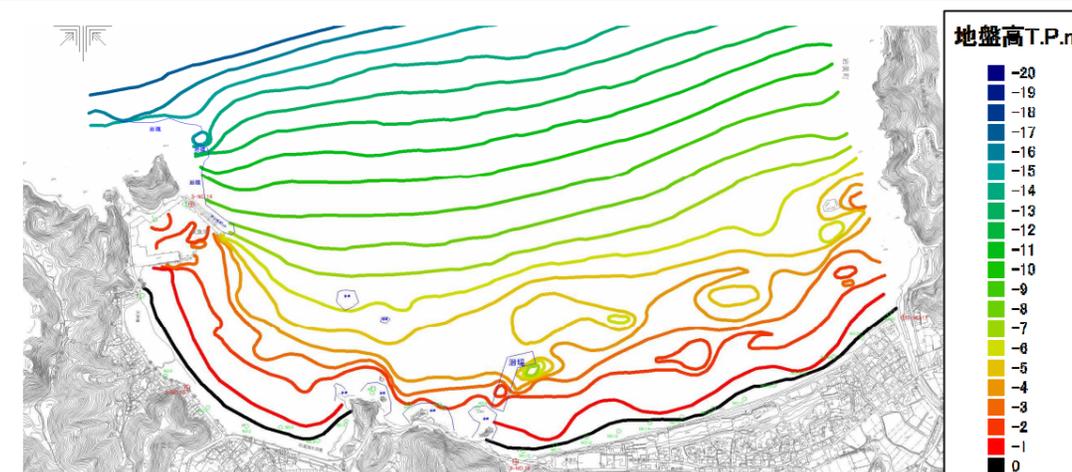


図 2.3.13 岩美海岸（陸上地区）の等深線図

2.3.4 浜幅分析

(1) 概要

当浜幅分析は、前述の分析が『ある年度の汀線を基準とした相対的な評価』に対し、『浜幅の絶対量を示しその変動を評価』するものである。

本分析では、浜幅の目安を、『防護』『利用』から設定をしており、防護面については打上げ高計算より25m、利用面については海水浴利用の観点から40mに浜幅を設定し、評価を行っている。

(2) 分析

- 平成29年3月には、No.15～16付近について汀線の後退がみられ、防護面の浜幅を満たしていない。その代わり No.13、No.18 では50mを超える十分な浜幅となっている。
- 防護面においては概ね満たしているものの、当海岸は海水浴場として利用される箇所であるため、利用面の浜幅からも注視していく必要がある。

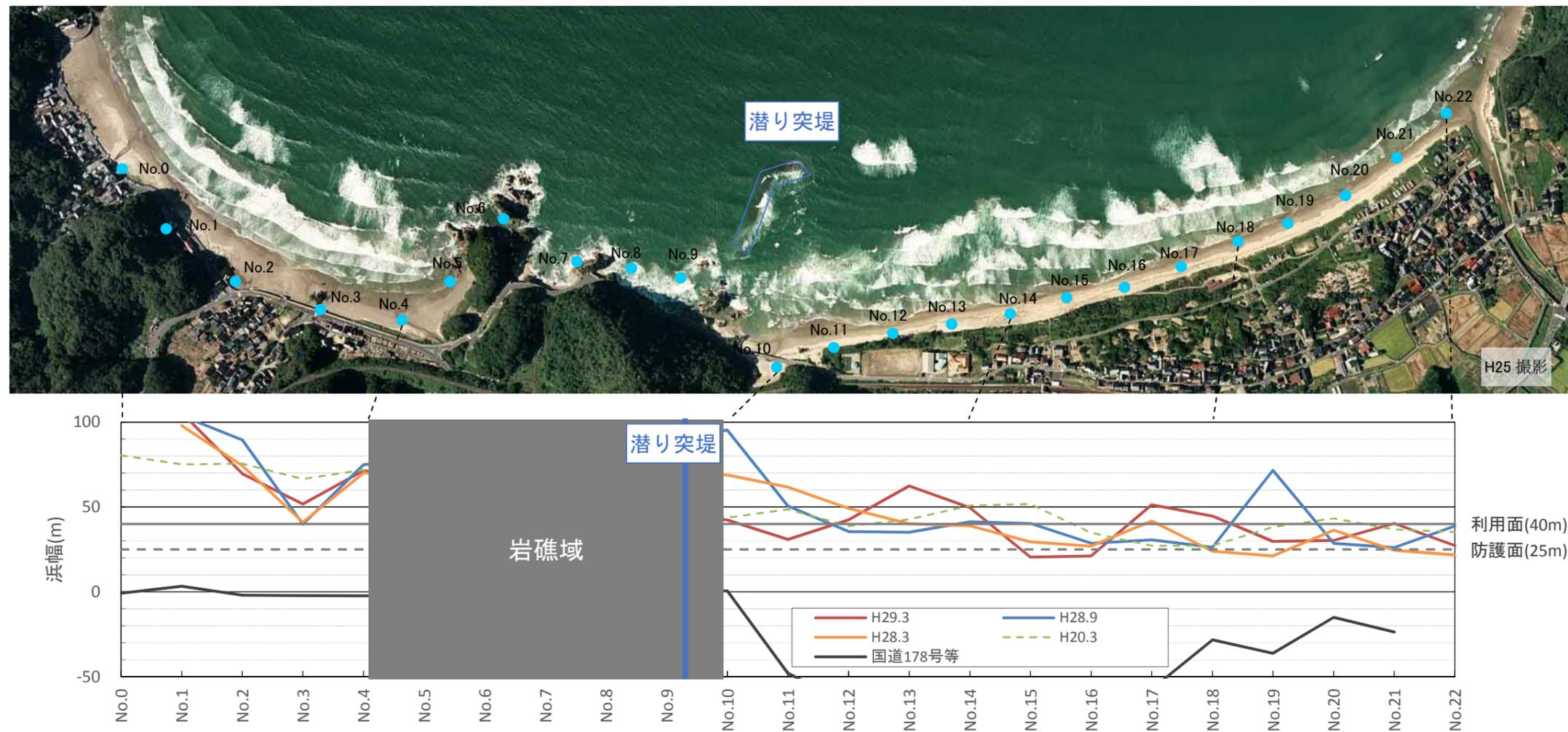


図 2.3.14 目安となる浜幅

2.4 問題点および今後の方針

- ・ 近年は季節的・局所的な変動が大きく、汀線については、常に注視が必要である。
- ・ 近年のサンドリサイクルにて、汀線の安定については、一定の効果はあると考えられる。しかし冬季風浪等により、局所的に大きな浜崖・侵食も発生しており、応急的な対応していく必要がある。
- ・ 侵食、浜崖の発生箇所について、海岸利用の安全性確保、景観維持のため、サンドパック工法の試験施工を実施する方向で調整中である。
- ・ 平成 28,29 年度測量においては、海上養浜による明らかな汀線等の変化は見られなかったが、今後の養浜・モニタリングにてその影響を確認していきたい。

2.5 測線毎の汀線経年変化 (参考資料)



図 2.5.1 測量基点位置 (岩美海岸 (陸上地区))

表 2.5.1 岩美海岸 (陸上地区) における汀線変化

年代	H18.3	H18.9	H19.3	H19.9	H20.3	H20.9	H21.3	H21.9	H22.3	H22.9	H23.3	H23.9	H24.3	H24.9	H25.3	H25.9	H26.3	H26.9	H27.3	H28.3	H29.3
汀線の経年変化	羽尾海岸 汀線変動量(m) No.1, No.2, No.4																				
	東浜海岸 陸上海岸 汀線変動量(m) No.10, No.12, No.14, No.16, No.18, No.20, No.22																				
採取場所別土砂投入量	投入量(m³) 陸上海岸(沖合), 東漁港, 羽尾海水浴場, 羽尾海水浴場西側, 陸上川 年度: H18, H19, H20, H21, H22, H23, H24, H25, H26, H27, H28																				
人為的改変	東漁港建設 (S41~H12) 潜り突堤建設 (H16~H17) 陸上川砂防堰堤 (S29~H11)																				
備考	年度 月日 台風																				